

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成23年3月29日
第766号

〒952-1209 佐渡市千種155
Tel: 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX: 4117
<http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail: kanai-es@sado.ed.jp



3月18日の修了者懇話会で、今年度の主な行事が終わりました。会に参加した子どもに、母親が「もう、ことば・こころの教室に来れないんだよ、先生にしっかりさようならを言いなさい」と言いました。そこで子どもの口から出た言葉は「ありがとう」でした。感動で胸が一杯になりました。大勢の皆さまの御協力に感謝いたします。

心の安定を願って

私の家の近くに保育園があります。毎朝、7時30分を過ぎるころ、園児のあいさつの声が聞こえてきます。「おはようございます」の元気な声に、私も「今日一日頑張ろう」とエネルギーをもらいます。

ある朝、「ただいま！」と言って、登園して来る園児がいました。きっと、その園児にとって保育園は居心地のよい場所なのでしょう。心が安らぐ家庭のような温かさがある場、「自分」を認めてもらえる場なのでしょう。

通級指導教室も同じです。通って来る子どもや保護者にとって、心安らぐ場、自己肯定感をはぐくむ場でありたいと願い、毎日指導を行っています。私もいつの日か、「ただいま！」と来室してもらえるような指導を目指したいと思い、指導の後は、「さようなら」の代わりに「行ってらっしゃい！」と送り出すようにしています。

うれしくも寂しい修了の季節。今年度の指導が終わりました。今までのたくさんの出会いに感謝いたします。そして、また新たな出会いに心ときめかせながら、更なる「心安らぐ場」となるように励みたいと思います。一年間ありがとうございました。(山口)



ありがとう

3月、学校でよく聞かれる言葉の一つが「ありがとう」です。先日、当校でも6年生を送る会があり、「6年生ありがとう」の声が何度も体育館に響き渡りました。「ありがとう」は感謝の気持ちを伝えるのにぴったりの言葉です。

さて、家事などのお手伝いをしてくれた子どもに、皆さんは何と声を掛けますか。「よく働いてえらいね」や「すごいなあ」でしょうか。「頑張ればできるじゃないか」と言う人もいるかもしれません。子どもと大人は「同じではないけれど対等」な存在であるのに、「えらいね」や「すごいね」などの言葉掛けは、上から目線の印象があります。私は「ありがとう」とか「お陰で助かったよ」「うれしいな」などの声を掛けてあげたいと思っています。子どもが、自分にはお手伝いできる力があり頼りにされていると実感できるようにしたいのです。そして、協力することや周りの人に感謝されることに喜びを感じられるよう接したいと心掛けています。(金子)



親の会 コーナー



会員の声 No.44

「ことばの教室に通って」 H・S

言葉を覚え、一番話をしたかった2歳頃から息子の吃音が気になり始めました。「まだ小さいから」と周りの方からも言っていたが、家でも気になる時と「最近、大丈夫だね」と感じる時との繰り返し。でも、ひどい時には息が続かなくなってしまうくらいに続く始めの一言。また、目をパチパチさせ足をバタバタさせながらも話をしようとする姿や、どこからか聞こえてくる「母親の愛情不足」の言葉に心苦しさを覚えたことも、今となっては思い出の一つとなりました。

ことばの教室に通い、もう一つの学校が増え、毎月心待ちにしている息子の姿をいつも隣で見えてきました。優しい笑顔と温かな心をたくさんいただき、ありがとうございました。

会員の声 No.45

「ありがとうございました」 M・M

こころの教室へは、4年生の2学期から通わせていただきました。我が子は集団生活に馴染めずにいました。私は、親としてどうしたらいいのだろうと悩んでおりました。

月に2回の教室を我が子は楽しみにしていて、先生と話すことやゲームを一緒にするのがとてもうれしいようでした。私自身も我が子に接する先生の姿勢や言葉かけが大変勉強になりました。

こころの教室に通って1年半、我が子も成長し、友達ともうまく接することができるようになりました。最近では、毎日のように友達が遊びに来るようになりました。我が子が楽しそうに友達と話しているのを見るにつけ、教室での御指導に感謝する次第です。

お知らせ



修了者懇話会が行われました

佐渡ことば・こころの教室修了者懇話会が3月18日に金井小学校にて行われ、修了者とその保護者合わせて22名の方が出席しました。また、佐渡市教育委員会や親の会会長からも出席していただき、お祝いの言葉をいただきました。大変ありがとうございました。

懇話会では、保護者の皆さまから修了にあたっての感想を一人ずつお話していただきました。

修了者と保護者の皆さま、本当におめでとうございました。



『修了にあたって』ができました

子どもの修了にあたり、その保護者から寄せられた感想文集『平成22年度 修了にあたって』ができました。この文集には、教室に通い始めた頃の不安や子どもの成長を感じ取った喜びなど、子どもと保護者との歩みがつづられています。

後日、送付いたしますので、是非御覧ください。